

女性・若者向け創業意欲喚起事業の CS ポートフォリオ分析

CS Portfolio Analysis of the Establishment of a Business
will Awakening Business for Woman, Youths

寺地 一浩^{*} 森 由紀^{*} 西嶋啓一郎^{*} 井上 伸明^{*}
Kazuhiro Terachi^{*} Yuki Mori^{*} Keiichiro Nishijima^{*} Nobuaki Inoue^{*}

キーワード：CS ポートフォリオ、地方創生、創業

1. 日本経済大学福岡キャンパスの地域貢献

日本経済大学は、福岡キャンパスが立地する太宰府市、筑紫野市と協働して種々の地域貢献事業を2015年度から開始している。具体的には、太宰府市とは地域連携協定を締結し太宰府市が主催する市民行事への協力参加をし、また筑紫野市では、江戸時代から黒田藩の御前湯として栄えた二日市温泉の観光資源をまちづくりに活かすパブリックコメントを学生が提案するなど、万葉の時代からの歴史文化を持つ両市の観光まちづくりを基本に、地域貢献科目を立ち上げ、アクティブラーニングなどによる学生の地域参加が行われている⁽¹⁾。

こうした状況の中で、2016年5月に太宰府市と筑紫野市から地方創生加速交付金事業への協力の委託があり、子育て世代の女性と若者を対象とした地域活性化事業が立案され、「女性・若者向け創業意欲喚起事業」として日本経済大学、太宰府市、筑紫野市、太宰府市・筑紫野市両商工会の5者が協働で事業に取り組んだ。

2. 女性・若者向け創業意欲喚起事業の背景

2015年度、政府は1億総活躍社会の実現に向けた緊急対応として、「希望を生み出す強い経済」を実現するため、また、「子育て支援」や「安心につながる社会保障」も含め「新・三本の矢⁽²⁾」の取組に貢献するため、地方創生加速化交付金の創設を行った。

※日本経済大学経営学部経営学科

(1) 西嶋啓一郎 (2017) 「JAPA 九州」第40号『太宰府市・産学官連携による地域ブランドづくり取り掛かりについての報告』日本計画行政学会九州支部

(2) 安倍晋三首相は2015年9月24日の記者会見で「アベノミクスは第2ステージに移る」と宣言し、経済成長の推進力として新たな「3本の矢」を発表した。新しい「3本の矢」とは、希望を生み出す強い経済、夢を紡ぐ子育て支援、安心につながる社会保障とのことであり、そのおのおのについて①2020年ごろに名目GDPを600兆円にする、②希望出生率1.8を2020年代初頭に実現する、③2020年代中ごろには介護離職をゼロにする、という具体的な目標が掲げられた。

具体的な取組は、地域の仕事の創生に重点を置きつつ、1億総活躍社会実現に向けた緊急対策にも資する効果の発現が高い事業が対象となっている。2016年度には、地方創生の深化のための新型交付金（地方創生推進交付金）が予算化され、以下の事業が例示された。

- 1) 地域の技の国際化（ローカルイノベーション）
- 2) 地域の仕事の高度化（ローカルサービスの生産性向上等）
- 3) 移住の促進/生涯活躍のまち
- 4) 広域的な取組による「小さな拠点」の形成・活性化
- 5) 地域の魅力のブランド化（ローカルブランディング：日本版DMO・地域商社）
- 6) 地方創生推進人材の育成・確保
- 7) 地域ぐるみの働き方改革
- 8) 都市のコンパクト化と公共交通ネットワークの形成等

3. 筑紫野市・太宰府市の合同事業への取組の概要

筑紫野市は人口101,794人、面積87.73km²、人口密度1,160人/km²。太宰府市は人口72,259人、面積29.60km²、人口密度2,441人/km²（2016年10月1日現在）で、両市は、福岡県筑紫地域に隣接する形で位置する。筑紫地域は福岡市広域都市圏のベッドタウンとして人口が増加している。

本事業は、事業名「女性・若者創業意欲喚起事業（地方創生加速化交付金事業）」で、上記7)の事例に属するものとなる。事業目的は、創業・ベンチャー企業を生み出す市民意識の醸成と風土づくりに資するもので、実際に創業しようと考えている人をはじめ、就職活動中の若者や、子育てを終えて新たな事をはじめたいと考える女性など、潜在的にいる「創業支援対象者」の意欲を掘り起こし、一人でも多くの市民に、創業に向けた行動を起こしてもらう機会作りをする事を目的とされた。

目的の達成にむけた取組として、創業意欲を喚起する講座・セミナー、ワークショップが開催されまた、その実績に基づく啓発冊子が配布された。ワークショップでは、筑紫野市と太宰府市でそれぞれのテーマを分担し、筑紫野市の創業意欲喚起対象は女性（主として子育て世代の女性）、太宰府市の創業意欲喚起対象は若者として実施された。特に、太宰府市においては、約9,000人の学生が日々勤しむ文教都市として、市民意識の醸成にむけて学生を中心にすえた若者が対象であった。

これらの事業は、実施主体が日本経済大学となり、筑紫野市・太宰府市の委託・補助事業として実施され、筑紫野市商工会・太宰府市商工会が協賛した。

4. 実施された事業

本事業は、筑紫野市、太宰府市、筑紫野市商工会、太宰府市商工会、日本経済大学が連携して、創業のための講演会及びセミナー（図1参照）、ワークショップ（図2参照）が開催し、最終的に各市商工会の行う創業塾への集客及び創業の実現に繋げることを目標とした。また、事業効果として、市内において創業者が増えることにより、市内住民の雇用創出を目指した。以下に実施されたイベント内容の実施状況を報告する。



図1 女性・若者向け創業意欲喚起セミナー



図2 女性・若者向け創業意欲喚起ワークショップ

4-1 女性・若者向け創業意欲喚起セミナー

セミナーは、平成28年9月22日(木・祝)午後13時～16時、日本経済大学福岡キャンパス大講義室で開催された。参加者は、一般参加者、日本経済大学学生を含む285名で、年齢性別を問わず、幅広く筑紫地域の市民が参加した(図3、5参照)。なお、当日は子育て世代の女性の参加のために日本経済大学関連校の福岡こども短期大学の教員、学生による託児所が会場施設に設けられた(託児希望者は要予約で10名が利用 図4参照)。

セミナーは、日本経済大学の都築明寿香学長の挨拶からはじまり、株式会社一蘭代表取締役吉富学氏の基調講演(図6参照)、株式会社ホープ代表取締役時津孝康氏(図7参照)、株式会社イクリプス



図3 セミナー参加者 (2016.9.22撮影)



図4 臨時の託児室 (2016.9.22撮影)



図5 セミナーに参加した学生
(2016.9.22撮影)



図6 基調講演する吉富氏
(2016.9.22撮影)



図7 講演する時津氏
(2016.9.22撮影)



図8 講演する奥本氏
(2016.9.22撮影)

代表取締役奥本みずほ氏の講演が行われた (図8 参照)。

吉富氏の基調講演は、「一寸法師戦略～弱者が強者に勝つ！商売の秘訣～」のテーマで行われた。吉富氏は日本経済大学の卒業生でもあり、学生時代のアルバイトの経験等は学生に親近感があった。また、卒業後にラーメン店を開店しニューヨークに店舗を開設できるまでに成長した過程における創業時の取組、そして「一蘭の森」による、とんこつラーメンを文化として発展させた実績等、地方創生の見地で、創業意欲の喚起による市民意識の醸成にむけた講演が行われた。

時津氏の講演は、「若者の創業意欲喚起」のテーマで行われた。(株)ホープは、自治体に特化した総合サービス会社で、自治体のデッドスペースを有料広告枠にすることで「資産」を創り出す「自治体有料広告事業」を通じ、この10年間で約35億円もの地方財源の確保・改善に貢献した実績を持つ。「自治体を通じて人々に新たな価値を提供し、会社及び従業員の成長を追求する」という企業理念を軸に、新たな領域へ事業を拡大し、さらなる価値の提供をすすめており、これからの時代の新しい起業の方向を示すものであった。

奥本氏の講演は「子育て世代の女性のための創業喚起」のテーマで行われた。(株)イクリプスは、奥本氏が武蔵野美術大学在学中の1998年にデザイン会社イクリプスを設立したことからはじまる。奥本氏は、2005年に日本WEBデザイナーズ協会を設立し4年間会長に就任する傍ら、専門学校や大学等でロジカルWEBデザインの講義や講演を行う等、女性起業家として活躍していたが、結婚を機に一時仕事を中断するため2009年末、事業譲渡。その後福岡市へ移住し出産、充電の期間をへて、2015年12月新規事業の準備も含め、イクリプスの活動を再開するという自身で子育てしながらの創業を成し遂げた経験を示すものであった。

4-2 若者向け創業意欲喚起ワークショップ

9月22日に開催されたセミナーに引き続き、第1回のワークショップは、平成28年10月15日(土)午後13時～16時、太宰府市いきいき情報センター2階、205、206、207研修室で開催された(図9参照)。参加者は、一般参加者、日本経済大学学生を含む11名で、ワークショップのファシリテーターは株式会社ホープ代表取締役時津孝康氏が務めた(図10参照)。

ワークショップは、時津氏が作成したワークシートを使って実施された(図11参照)。事業の「提案目的」「事業の概要」「事業の特徴」「期待される成果」の項目において、参加者それぞれがその場で考えものが発表され、ファシリテーターの時津氏がコメントを加える方向性を修整するワークが行われ、参加者全員が自分の考える起業イメージを獲得する内容であった。



図9・10 ワークショップの様子及び参加者にアドバイスする時津氏 (2016.10.15撮影)

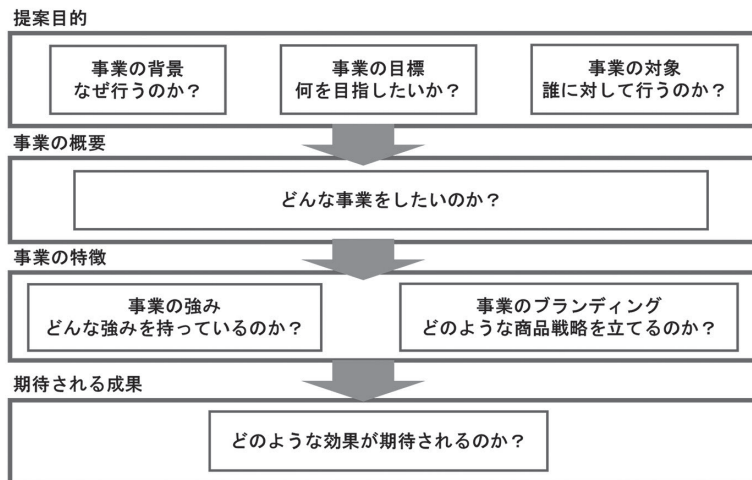


図11 10/15ワークショップで使用されたワークシートのコンテンツ

4-3 子育て世代の女性向け創業意欲喚起ワークショップ

第2回目のワークショップは、平成28年10月22日(土) 午後13時～16時、筑紫野市役所 第1別館 1階 第11会議室で開催された(図12参照)。参加者は、一般参加者、日本経済大学学生を含む10名で、ワークショップのファシリテーターは株式会社イクリップス代表取締役奥本みずほ氏が務めた(図13参照)。

ワークショップは、奥本氏が作成した「人生設計ワークシート」を使って実施された(図14参照)。これは人生設計を「ビジネス」「家庭」「プライベート」の3つのカテゴリーに分け、現在から1年後、3年後、5年後10年後20年後までのキャリアデザインをイメージできるもので、参加者は奥本氏との対話を通してシートを作成を行った。



図12・13 ワークショップの様子及び参加者と対話する奥本氏 (2016.10.15撮影)

人生設計 ワークシート

項目	記入例	記入日					
		現在	1年後	3年後	5年後	10年後	20年後
年齢	35歳	35歳	36歳	38歳	40歳	45歳	55歳
ビジネス	会社員、年収300万円、課長、客室、月に2度程度出張あり						
ファミリー	夫、3歳男児1、母親70歳別居、家賃7万円						
プライベート	運動不足、趣味映画鑑賞、旅行にもっと行きたいが行けない						

図14 10/22ワークショップで使用された人生設計ワークシート

5. 事業についての検証

5-1 セミナーについてのアンケート調査

セミナー開催（9月22日）および2回のワークショップ開催（10月15日と10月22日）について、日本経済大学地域連携センターがアンケート調査をそれぞれ行い参加者の満足度等を分析検証した。まずセミナーに対するアンケート調査については、2016年9月22日セミナー開催時に参加者に対して書面による対面調査を行った。セミナーに参加した285名すべての参加者にアンケート書面を配布し、セミナー終了時にアンケート書面の提出を求め182名（男性120名、女性62名）より回答を得た。アンケート調査の性別、年代ごとの回答者数（年代の回答なく年代不明2名を含めた182名）について図15に示す。

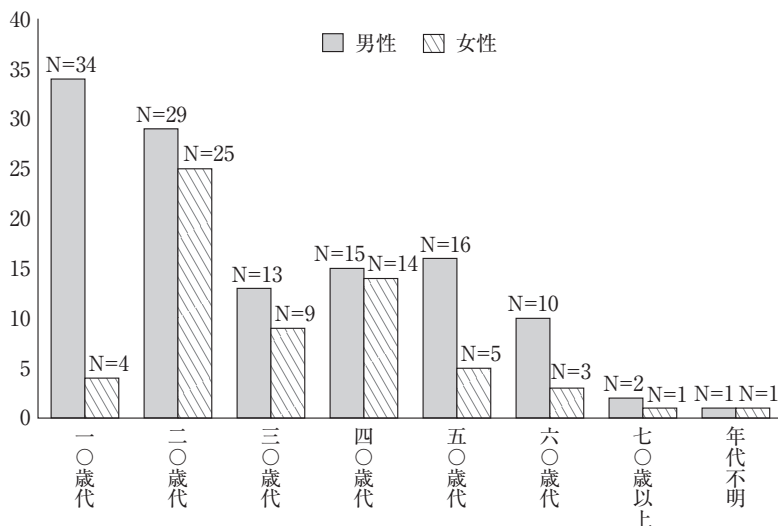


図15 アンケート調査の性別、年代ごとの回答者数 (Pearson のカイ 2乗値17.95、自由度7、有意確率0.012)

調査は、①参加者のセミナーに対する満足度および②セミナーに対する満足度以外の参加者の評価を11項目において回答を求めた。評価を求めた11項目については、セミナー、シンポジウムの評価に関する先行研究、および寺地（2013）の感情要因に関する研究の刺激特性尺度を参考に、創業、意欲喚起に対する特性を抽出し、本セミナー、ワークショップ分析検証のために、創業意欲喚起に関する評価項目の作成を行った。回答者に対して①セミナーに対する満足度および②満足度以外の参加者の評価を質問し、「1. まったくそう思わない 2. あまりそう思わない 3. ふつう 4. そう思う 5. たいへんそうおも思う」の5件法間隔尺度で回答を求め、分析を行った。満足度および評価を求めた11項目の設問を、表1に示す。

表1 満足度および評価を求めた11項目の設問

〈満足度の設問〉
本日のセミナーは、あなたにとって満足できるものでしたか。
〈満足度以外の11設問〉
①セミナーは、仕事や学習に役立った。
②セミナーは、楽しかった。
③セミナーを受け、「何か起業してみたい」と思った。
④起業することについて、具体的に調査・相談してみたいと思った。
⑤セミナー講師の経営している会社や仕事に、興味をもった。
⑥セミナーを受け、仲間と一緒に「何かしたい」と思った。
⑦セミナーを受け、今後自分の仕事・学業をがんばろうと思った。
⑧セミナーを受け、筑紫野市商工会・太宰府市商工会の創業塾に興味をもった。
⑨セミナーを受け、起業（創業）に対するイメージが身近なものとなった。
⑩セミナーを受け、10月15日、22日開催のワークショップに参加したいと思った。
⑪セミナーを受け、今後も起業に関するセミナーを開催してほしいと思った。

5-2 セミナーについてのアンケート調査結果

セミナーについての分析は、①参加者のセミナーに対する満足度および②セミナーに対する満足度以外の参加者の評価について5件法で回答を求めた「1. まったくそう思わない 2. あまりそう思わない 3. ふつう 4. そう思う 5. たいへんそうおも思う」の1から5の数値を満足度、各評価値として定義し分析を行った。合計（N=182）平均値の調査結果を表2、図16に示す。

表2 合計（N=182）の満足度および各項目の平均値と標準偏差

項目	平均値	標準偏差	N
満足度	3.96	1.29	182
役立った	3.87	1.34	182
楽しかった	3.84	1.35	182
起業してみたいと思った	3.16	1.38	182
調査相談したい	2.99	1.33	182
講師会社に興味	3.54	1.28	182
仲間と何かしたい	3.23	1.34	182
仕事学習を頑張る	3.88	1.29	182
創業塾に興味	3.05	1.25	182
起業が身近になった	3.31	1.27	182
WSに参加したい	2.94	1.20	182
セミナー開催要望	3.46	1.32	182

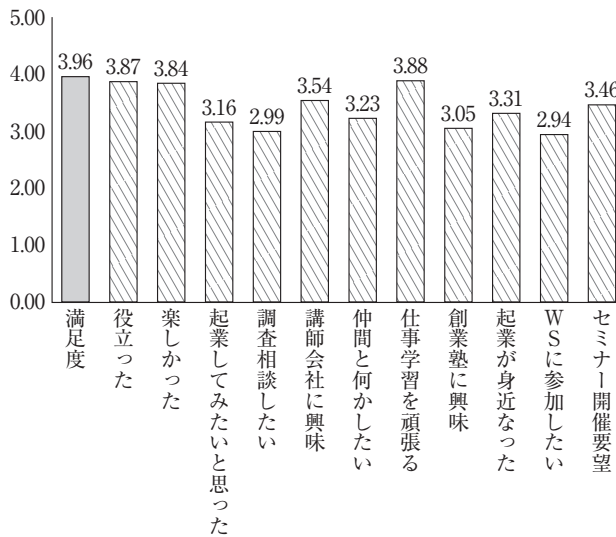


図16 合計 (N=182) の満足度および各項目の平均値

満足度については、満足度結果の度数分布において、4. そう思う (N=50) と 5. たいへんそうおも思う (N=83) の合計で、73.3% (N=133) と高い評価層分布が多く、満足度の平均値3.96と高い参加者の評価結果であった。

またセミナー受講後の各評価値について、今後自分の仕事、学業をがんばろうと思った (平均値3.88)、仕事や学習に役立った (平均値3.87)、楽しかった (平均値3.84) が高い評価結果であった。一方、ワークショップに参加したい (平均値2.94)、起業することについて具体的に調査・相談してみたいと思った (平均値2.99)、筑紫野市商工会・太宰府市商工会の創業塾に興味をもった (平均値3.05) のいずれも創業意欲に関する項目の評価については、低い平均値の結果であった。

つぎに、男性 (N=120) と女性 (N=62) および若者である10歳代 (N=38) と20歳代 (N=54) の合計 (N=92) についての平均値の調査結果を表3に示す。

男性 (N=120) の調査結果より、各評価平均値結果より仕事や学習に役立った (平均値3.84)、今後自分の仕事、学業をがんばろうと思った (平均値3.82)、楽しかった (平均値3.81) が高い評価結果であった。女性 (N=62) の調査結果について、各評価平均値結果より今後自分の仕事、学業をがんばろうと思った (平均値4.02)、仕事や学習に役立った (平均値3.92)、楽しかった (平均値3.90) の合計 (N=182) の各評価と同じ順で高い評価結果であり、筑紫野市商工会・太宰府市商工会の創業塾に興味をもった (平均値3.06) が、最も低い平均値結果であった。若者である10歳代 (N=38) と20歳代 (N=54) の合計 (N=92) の各評価平均値結果についても、女性 (N=62) の調査結果と同様に、今後自分の仕事、学業をがんばろうと思った (平均値3.80)、仕事や学習に役立った (平均値3.73)、楽しかった (平均値3.71) の合計 (N=182) の各評価と同じ順で高い評価結果であった。

つぎに、これらセミナーに対する満足度以外の11項目の評価よりCS (Customer Satisfaction) ポートフォリオ分析を行い検証した。CSポートフォリオ分析は、セミナーに対する11項目の平均値と、満足度の平均値との相関係数 (Pearsonの相関係数) を総合満足度への影響度としてとらえ (「重要

表3 男性、女性、10歳代と20歳代合計の満足度および各項目の平均値と標準偏差

項目	男性 (N=120)		女性 (N=62)		10歳代+20歳代 (N=92)	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
満足度	3.93	1.39	4.02	1.08	3.80	1.34
役立った	3.84	1.42	3.92	1.16	3.73	1.35
楽しかった	3.81	1.39	3.90	1.28	3.71	1.32
起業してみたいと思った	3.07	1.46	3.34	1.20	3.14	1.33
調査相談したい	2.94	1.37	3.10	1.25	3.05	1.27
講師会社に興味	3.45	1.33	3.71	1.16	3.46	1.17
仲間と何かしたい	3.24	1.33	3.19	1.38	3.43	1.27
仕事学習を頑張る	3.82	1.36	4.02	1.15	3.80	1.32
創業塾に興味	3.04	1.29	3.06	1.16	2.96	1.15
起業が身近になった	3.19	1.39	3.55	.99	3.22	1.25
WSに参加したい	2.83	1.29	3.15	.99	2.86	1.16
セミナー開催要望	3.36	1.47	3.66	.94	3.27	1.28

度」と定義) これら2つの指標からセミナーにおける改善、重点項目を分析するものである。合計(N=182)における「重要度」と定義した相関係数および「満足度以外の11項目の平均値」を表4、図17に示す。CSポートフォリオ分析により、11項目におけるセミナーでの重点継続項目、重点改善項目、現状維持項目、要注意項目を分析検証した。

合計(N=182)の図17CSポートフォリオ分析より、満足度に影響を与え、高い満足度(平均値=3.96)の源泉とされる重点継続項目は、楽しかった(重要度0.812、平均値3.84)、仕事や学習に役立った(重要度0.791、平均値3.87)、今後自分の仕事、学業をがんばろうと思った(重要度0.734、平均値3.88)、講師の経営している会社や仕事に興味をもった(重要度0.681、平均値3.54)であった。満足度への影響の度合いである重要度が高いにも関わらず、項目評価が低い重点改善項目は、今後も起業に関するセミナーを開催してほしい(重要度0.756、平均値3.46)であった。これは今後の本事業におけるセミナーの継続開催について検討する項目として、取り上げる必要性を示している。また満足度への影響の度合いである重要度が低く、かつ各項目の評価が低い要注意項目として、何か起業してみたい(重要度0.574、平均値3.16)、起業に対するイメージが身近なものとなった(重要度0.552、平均値3.31)、仲間と一緒に何かしたい(重要度0.515、平均値3.23)等の6項目であった。これら6項目は、概ね本事業の目的である創業に対する意欲喚起項目であるが、各項目の評価が低く、また本セミナーに対する参加者の高い満足度には影響度は低いことより、今後の本事業セミナー開催において重点的に改善する必要がある項目であることが示された。CSポートフォリオ分析において本セミナーにおける高い満足度は4つの重点継続項目(楽しかった、仕事や学

表4 合計(N=182)の重要度および各項目の平均値

	重要度	平均値
役立った	0.791**	3.87
楽しかった	0.812**	3.84
起業してみたいと思った	0.574**	3.16
調査相談したい	0.491**	2.99
講師会社に興味	0.681**	3.54
仲間と何かしたい	0.515**	3.23
仕事学習を頑張る	0.734**	3.88
創業塾に興味	0.453**	3.05
起業が身近になった	0.552**	3.31
WSに参加したい	0.439**	2.94
セミナー開催要望	0.756**	3.46

** = 相関係数は1%水準で有意(両側)

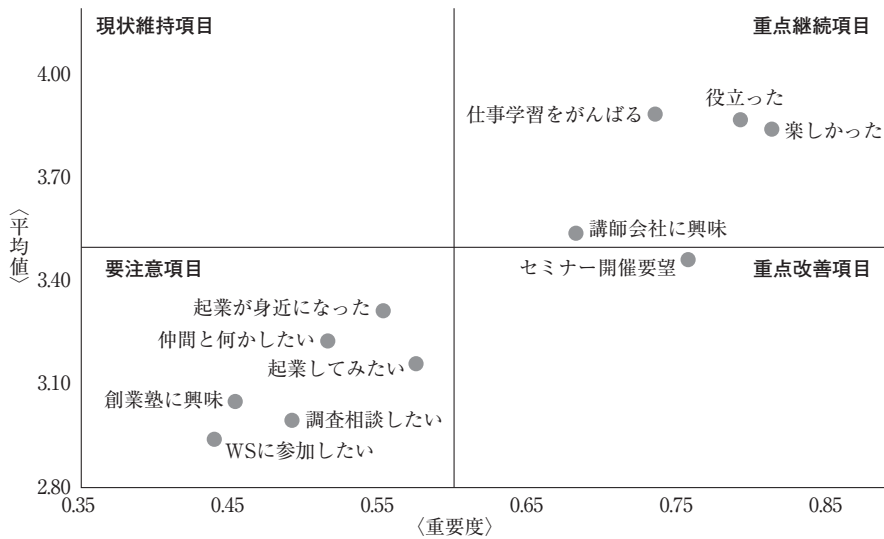


図17 合計 (N=182) の重要度と各項目平均値によるCSポートフォリオ分析

習に役立った、今後自分の仕事学業をがんばろうと思った、講師の経営している会社や仕事に興味をもった) によるものであることを明らかにした。

つぎに女性 (N=62) における「重要度」と定義した相関係数および「満足度以外の11項目の平均値」を表5、図18に示す。CSポートフォリオ分析により、女性 (N=62) におけるセミナーでの重点継続項目、重点改善項目、現状維持項目、要注意項目を分析検証した。

高い満足度 (平均値=4.02) 評価であった女性 (N=62) における、重点継続項目は、仕事や学習に役立った (重要度0.889、平均値3.92)、今後自分の仕事、学業をがんばろうと思った (重要度0.857、平均値4.02)、楽しかった (重要度0.834、平均値3.90)、今後も起業に関するセミナーを開催してほしい (重要度0.765、平均値3.66)、講師の経営している会社や仕事に興味をもった (重要度0.669、平均値3.71)、起業に対するイメージが身近なものとなった (重要度0.608、平均値3.55) の6項目であった。これら創業意欲に関連する項目を含む6項目が、高い満足度の源泉とされることが示された。満足度への影響の度合いである重要度が低く、かつ各項目の評価が低い要注意項目として、ワークショップに参加したい (重要度0.428、平均値3.15)、起業することについて具体的に調査・相談してみたい (重要度0.424、平均値3.10) 等4項目であった。女性 (N=62) の分析結果において、合計 (N=182) CSポートフォリオ分析に比べ、要注意項目では2項目少なく、一方重点継続項目では、創業意欲に関連する項目を含め2項目多い結果であった。これらより本事業の対象とするセミナーに対する女性の高い満足度については、創業意欲に関連する項目が影響を与えている傾向があることが示された。

表5 女性 (N=62) の重要度および各項目の平均値

	重要度	平均値
役立った	0.889**	3.92
楽しかった	0.834**	3.90
起業してみたいと思った	0.654**	3.34
調査相談したい	0.424**	3.10
講師会社に興味	0.669**	3.71
仲間と何かしたい	0.395**	3.19
仕事学習を頑張る	0.857**	4.02
創業塾に興味	0.354**	3.06
起業が身近になった	0.608**	3.55
WSに参加したい	0.428**	3.15
セミナー開催要望	0.765**	3.66

** = 相関係数は1%水準で有意 (両側)

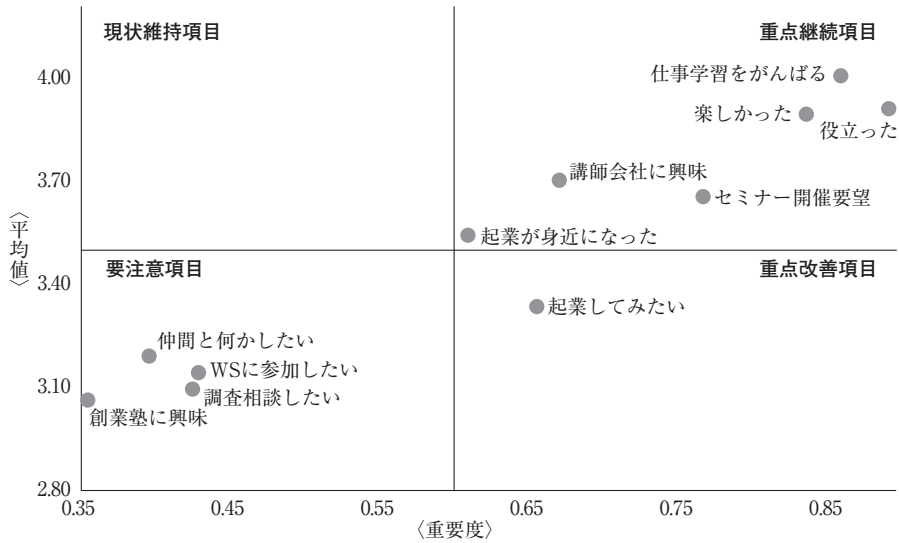


図18 女性 (N=62) の重要度と各項目平均値によるCSポートフォリオ分析

6. まとめ

本事業は、前章で記した4つのイベントから構成される。初めに「女性・若者向け創業喚起セミナー」が開催され、イベントにはポスター、チラシが作られ、太宰府・筑紫野両市内のJR、私鉄駅に掲示され一般市民への周知が図られた。日本経済大学大講義室には、一般参加者、学生参加併せて285人の参加があった。このセミナーがキックオフとなり、つづく10月のワークショップが開催された。

ワークショップのファシリテーターはセミナーで講師を務めた時津氏が15日の若者向けワークショップを、奥本氏が22日の子育て世代の女性向けワークショップを担当したので、ワークショップにはセミナーに参加した一般市民、学生の参加があった。また、ワークショップでは太宰府市、筑紫野市のそれぞれの商工会も参加しプログラムの最後では、両商工会が主催する「創業塾」の案内が行われた。表6に創業塾の日程を示す。

表6 太宰府市・筑紫野市商工会「創業塾」

だざいふ創業塾	開催日時 (2016年)	
太宰府市商工会	第1回	10月29日(土) 午前9時～午後4時
	第2回	11月5日(土) 午前9時～午後4時
	第3回	11月12日(土) 午前9時～午後4時
	第4回	11月19日(土) 午前9時～午後4時
ちくし創業塾	開催日時 (2016年)	
筑紫野市商工会	第1回	11月10日(木) 午後7時～午後9時
	第2回	11月17日(木) 午後7時～午後9時
	第3回	11月24日(木) 午後7時～午後9時
	第4回	12月1日(木) 午後7時～午後9時

両市の創業塾は、今回の本事業には含まれていないが、その成果目標として創業塾を受講する市民を増やすことがあった。両市の創業塾について2015年度と2016年度の参加人数を表7に示す。2016年度の両商工会の創業塾は、本事業が寄与し2015年度に比べ多くの参加者を集める結果であった。

表7 太宰府市・筑紫野市の創業塾参加人数

	2015年度	2016年度	増加人数
だざいふ創業塾	15人	28人	13人
ちくし創業塾	8人	18人	10人
合計	23人	46人	23人

参考文献

- 寺地一浩 (2013). 「インセンティブに対する感情要因の研究」, 創造都市研究, 第9巻1号, pp.59-71.
- 寺地一浩 (2014). 「セールス・プロモーションに対する感情要因への影響要因分析」, 社会情報学会 SSI 学会大会論文集, pp.129-132.
- 井上伸明 (2006). 「教員業務支援システム」, 福岡医療福祉大学.
- 井上伸明 (2010). 「福祉系大学におけるデータベース活用による業務支援に関する一考察」, 福岡医療福祉大学紀要.
- 井上伸明・増水紀勝・木村匡 (2011). 「教務管理システム」, 福岡医療福祉大学紀要.
- 井上伸明・増水紀勝・木村匡 (2012). 「リレーショナルデータベースを用いた教学管理システムの一手法-時間割作成業務における効率化の試み-」, 福岡医療福祉大学紀要, 9号, pp.33-40.
- 井上伸明 (2014). 『汎用ログインシステム』, 社会福祉法人 実教そよかぜ福祉会.
- 井上伸明 (2014). 「DBMS を使用したシステム開発の効率化に関する試み-EUC を考慮した汎用ログインシステムの構築における一手法について-」, 福岡医療福祉大学紀要, 11号, pp.111-117.
- 井上伸明 (2016). 『FD 支援_授業評価集計システム』, 日本経済大学.
- 西嶋啓一郎 (2017). 「太宰府市・産学連携による地域ブランドづくり取り掛かりについての報告」, JAPA 九州, 第40号, pp.12-13.